

vol. 9

**ゲストスピーチ 香川県教育長 淀谷圭三郎氏**

・教育動向は、地域活性化（地域の風土・自然・文化・人材育成）と教育を行う環境（地域社会のインフラ）である。

・教育を受ける権利を保障する場合、従来の学校教育を発展させる必要がある。ソサイエティ5.0の時代が来ており、予測困難な時代とも言われている。そのようななかで育む能力は何なのか、学校現場で子どもたちに何を教えていくのか、そういったものを学習指導要領をしっかりと推進し、一方でICTの活用をするといったこととなる。

・地域社会でスポーツとか自然体験とか家庭のこととか家庭のなかで教育する親のこととか色んなことを考える、これが地域公共政策としての教育であると思っている。

・しっかりとした教員の確保の必要がある。人口減少の問題がある。人口減少は加速度的に進んで、子どもが減ることになる。子どもが減ると、先生が楽ということにはならない。特別支援教育、外国人、不登校、児童虐待、ヤングケアラー、貧困の問題がある。問題改善のため、働き方の改革を考える必要がある。保護者や教師の意識を改革する必要がある。

・香川県の教育上の課題の3つのうち1つは、部活動の地域移行である。平日は学校教育活動、休日は社会教育活動ということは無理がある。もともと教師が休日に部活動は負担が大きいからということが原因であったが、本末転倒である。子どもたちが何を求めており、どのような体制を整えるのかが問題である。もう1つは教職員の働き方改革である。やればやるほど切りがない。育休をとろうとしても、代替教員がない状態である。最後の問題については、不登校の児童の数が香川県で過去最高だった。学校だけではどうにかならず、福祉を含めてどういうやり方をするのか、不登校の子の能力をどう活かすのが課題である。

**例会報告(9月5日)**

**会長挨拶**

**ニコニコ**

宮本：國時会員様、ガバナー補佐引き受けて頂き、ありがとうございました。

坂田：夏季家族会ありがとうございました。

三谷、高島：淀谷教育長様ありがとうございました。

川西：出席表彰いただきました。

**メイクアップ**

9/2 香川分区米山協議会 宮本、國時

例会変更

**○次回例会のお知らせ○**

日時 9月12日 12:30～  
場所 坂出グランドホテル  
内容 会員卓話  
植田博司会員

**●出席報告●**

会員数	欠席者	メイクアップ	出席率
39名	8名	2名	84.21%